※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１６

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　文学国語　（第一学習社）						
副教材等	LT 現代文２　（浜島書店）　　新訂版　最新国語便覧　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年では高校全教科及びこれからの生活の基礎になる国語力を身に着けることをめざします。さらに進学後や社会に出てから必要な言語に関する教養を養います。
・読むことを基本にしつつ文章記述やプレゼンテーションなどの表現学習に重きを置きます。
・小説では人物の詳細な心情（心情の変化）を読み取ることと、表現できることを心がけていきましょう。
・授業内の課題はもちろんのこと、提出物、漢字小テストなどにも目的を理解して取り組みましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	葉桜と魔笛	文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。	a: 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b: [読] 小説の展開において、「私」の語りの特徴がもたらしている効果を把握しながら読む。 c: 登場人物の行動や心理を積極的に読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	小諸なる古城のほとり	文語定型詩の構成やリズムに親しみ、情景にこめられた心情を理解する。	a: 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b: 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。 c: 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
2学期	読書感想文	主体的に読書し、内容を把握しようとする。	b:[書]内容を把握し、構成や表現方法に工夫を凝らして記述する。 C:読書を通して感じたことや考えたことを主体的に表現できる。		ワークシート	ワークシート
	こころ	内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	a: 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b: [読]物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 c: 場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	永訣の朝	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。	a: 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b: [読]詩の中の自然に描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。 c: 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
3学期	山月記	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	a: 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b: [読]表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 c: 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	旅する本	内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	a: 読書の意義と効用を理解する。 b: [書]作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 c: 作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間